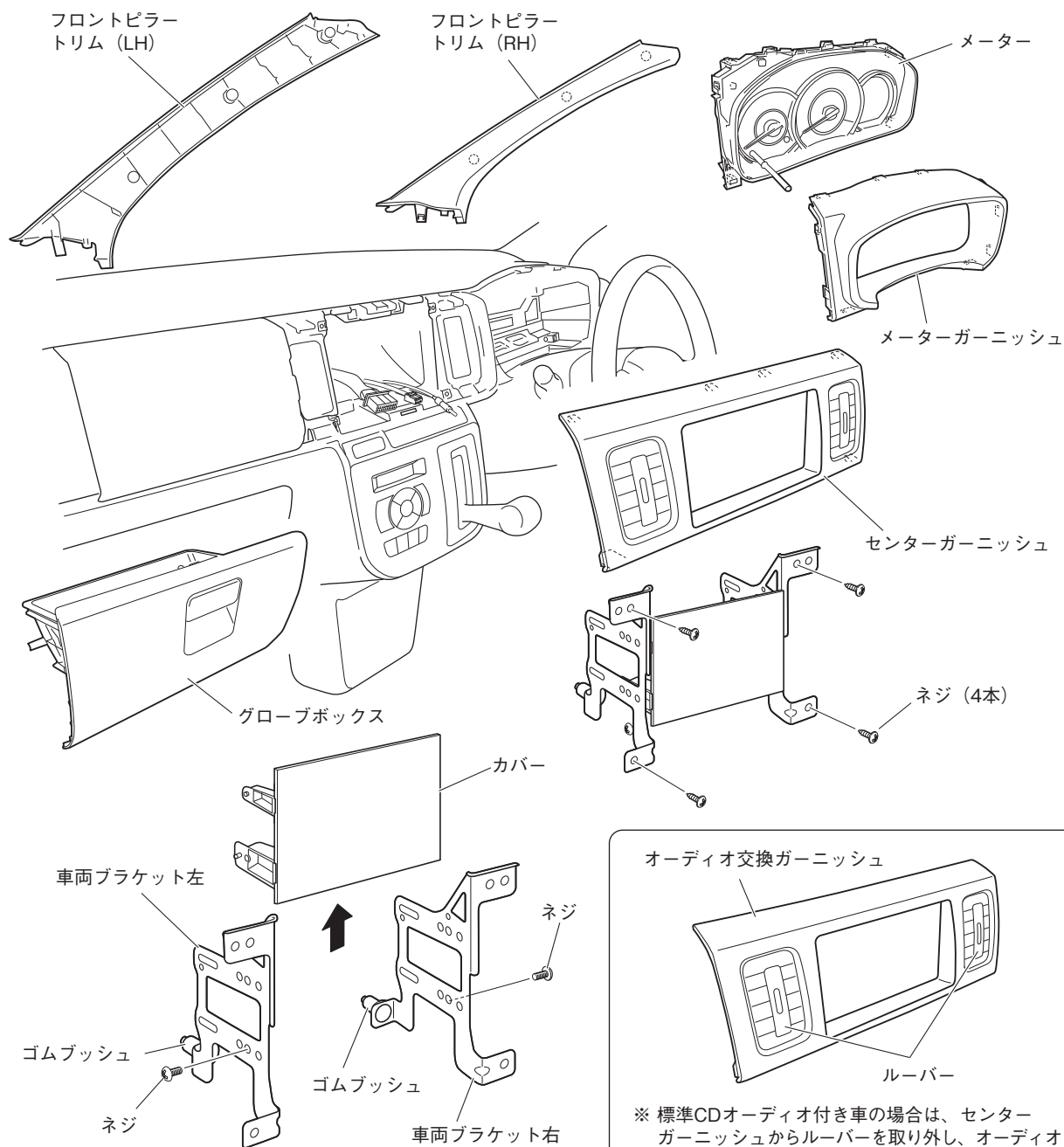


■ アルト

1. 車両部品の取り外し



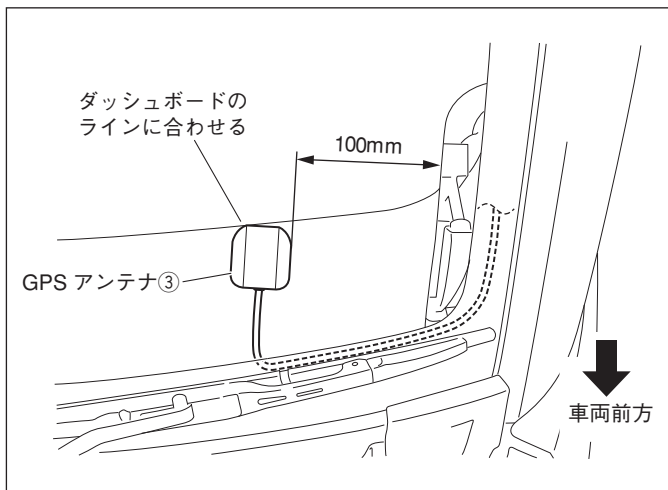
▲ 注意

- 車両ブラケット左右のゴムブッシュがはずれていないことを確認してください。
- 作業を始める前に、必ずシフトノブを最下段 (Lレンジ) にしてください。

1. フロントピラー トリム (LH/RH) を取り外します。
2. センターガーニッシュを取り外します。(クリップ7箇所)
3. 車両ブラケット左右を取り外します。(ネジ4本、オーディオコネクター、アンテナコネクター)
4. 車両ブラケット左右からカバーを取り外します。(ネジ2本)
5. メーターガーニッシュを取り外します。(ツメ10箇所)
6. メーターを取り外します。(クリップ4箇所)
7. グローブボックスを取り外します。

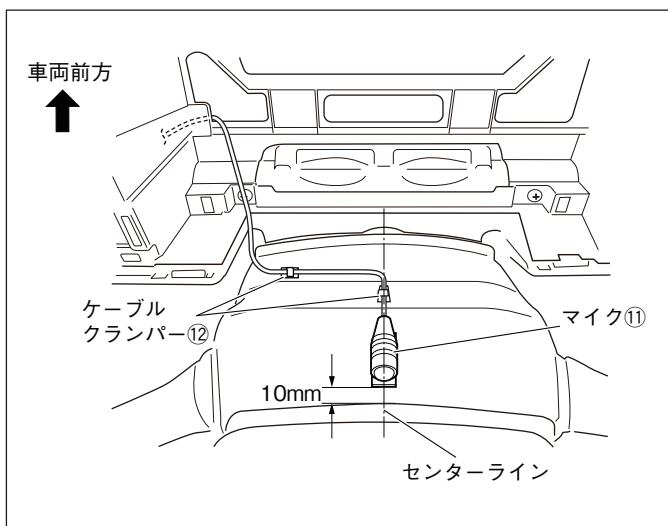
※ 標準CDオーディオ付き車の場合、センターガーニッシュからルーバーを取り外し、オーディオ交換ガーニッシュに取り付けてください。

2. GPS アンテナの取り付け



1. GPSアンテナ③を左図の位置に取り付けます。

3. マイクの取り付け

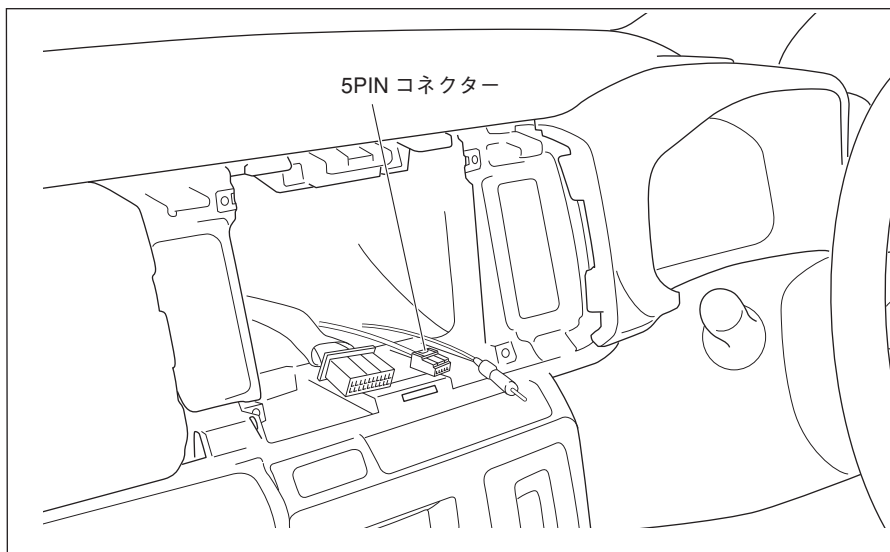


1. マイク⑪を左図の位置に取り付けます。
2. マイク⑪のケーブルをケーブルクランプ⑫で固定します。

注記

配線終了後、ステアリングのチルト操作等を行い、マイク⑪のケーブルと干渉しないことを確認してください。

4. 車速信号、パーキング信号、バック信号の取り出し



1. 5PINコネクターの線が車両ハーネスにテープで固定されているので、このテープを外します。
2. 5PINコネクターを引き出します。
3. 結線図を参照して、5PINコネクターと電源ハーネス②のコネクターを接続します。

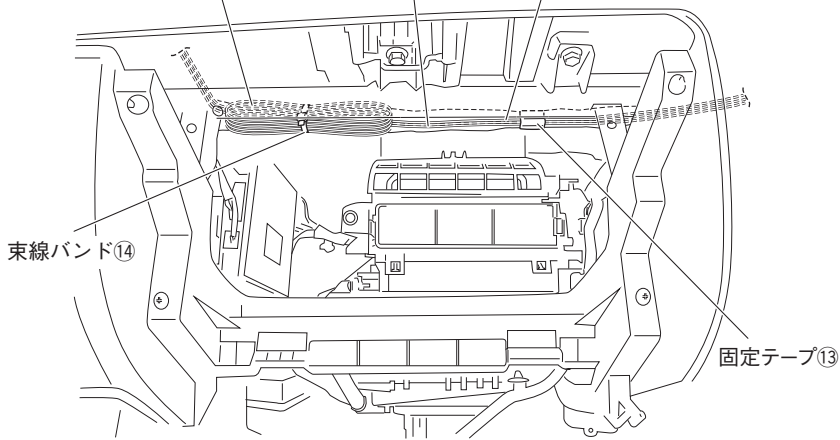
5.配線

<助手席側：グローブボックス取り付け部奥の配線>

GPSアンテナ③のケーブルと
アンテナケーブル⑧の余長

アンテナケーブル⑧
(2本)

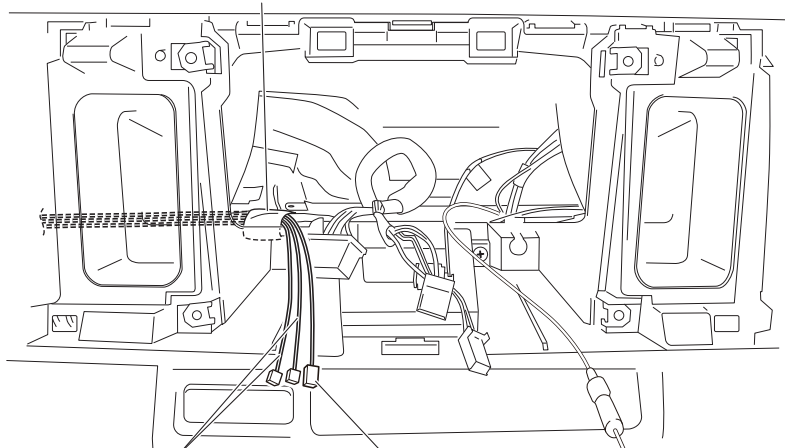
GPSアンテナ③
のケーブル



1. GPSアンテナ③のケーブルとアンテナケーブル⑧2本をダッシュボード助手席側からグローブボックス取り付け部奥を通して、ナビゲーション本体①まで配線します。ケーブルは固定テープ⑬で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑭で車両ハーネスに固定します。

<ナビゲーション取り付け部の配線>

固定テープ⑬



アンテナケーブル⑧ GPSアンテナ③のケーブル

2. GPSアンテナ③のケーブルとアンテナケーブル⑧2本を、束線バンド⑭で車両ハーネスに固定します。

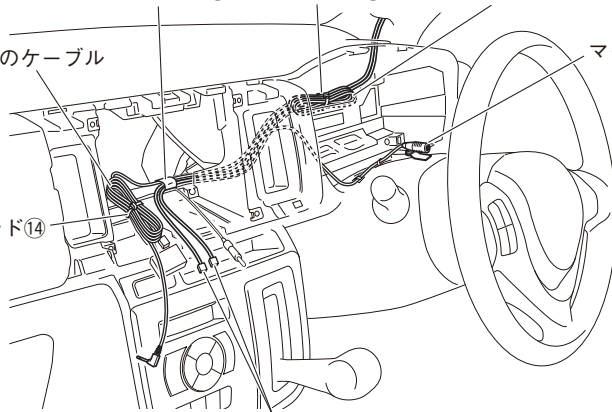
<運転席側アンテナケーブルとマイクのケーブルの配線>

固定テープ⑬ 束線バンド⑭ アンテナケーブル⑧の余長

マイク⑪のケーブル
の余長

マイク⑪

束線バンド⑭



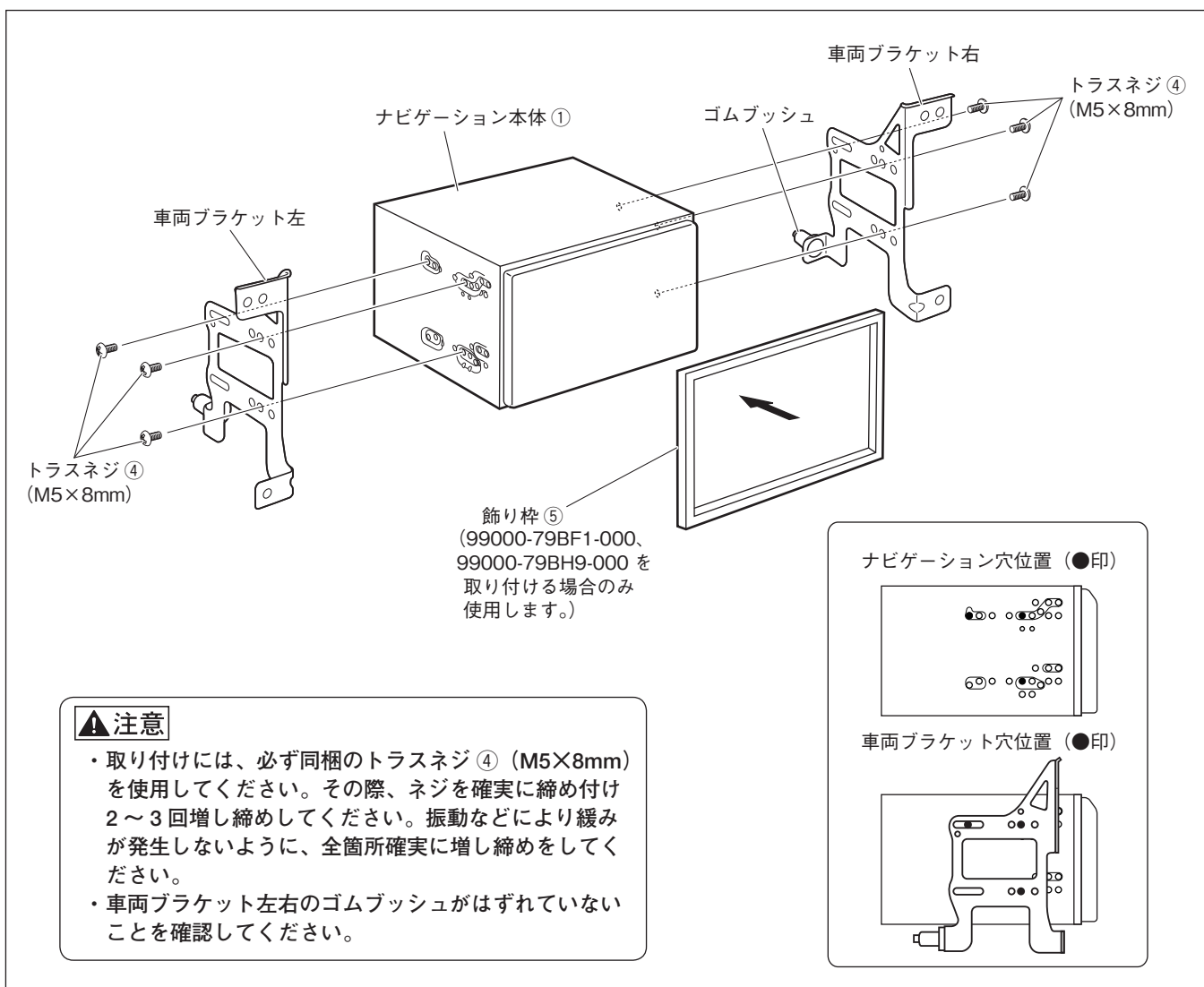
アンテナケーブル⑧

3. アンテナケーブル⑧2本とマイク⑪のケーブルをナビゲーション本体①まで配線します。ケーブルは固定テープ⑬で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑭で車両ハーネスに固定します。

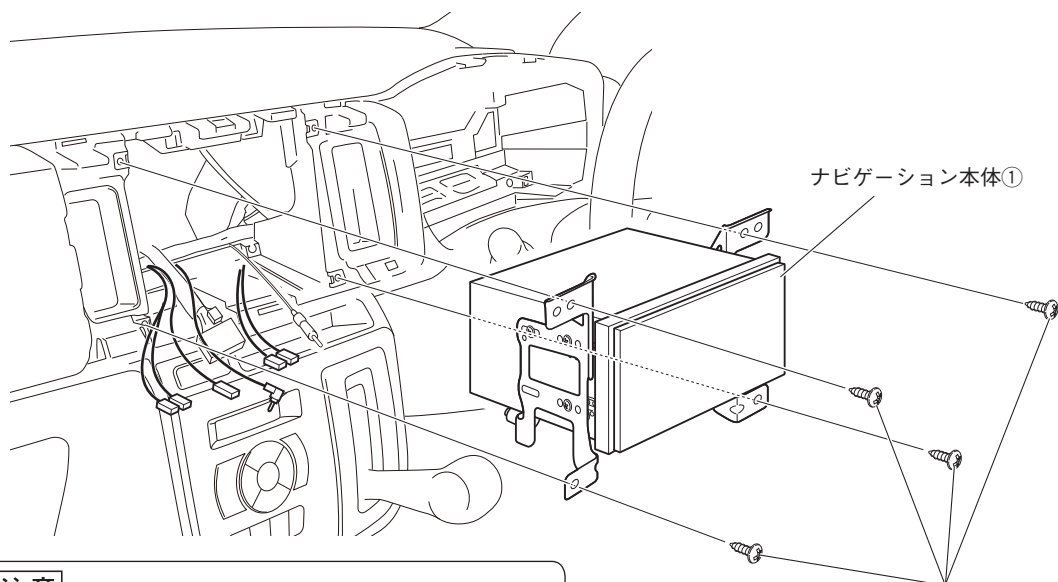
▲ 注意

ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

6.ナビゲーションの取り付け



1. ナビゲーション本体①に車両ブラケット左右を取り付けます。
2. 同梱の飾り枠⑤を取り付けます。(99000-79BF1-000、99000-79BH9-000 を取り付ける場合のみ使用します。)



▲ 注意

車両ブラケット左右のゴムブッシュがはずれていないことを確認してください。

「1.車両部品の取り外し」の手順3で取り外したネジ

3. 結線図を参照して配線を接続します。
4. ナビゲーション本体①を車両へ取り付けます。
 その際、ナビゲーション本体①から出ているUSBケーブルをグローブボックス側へ配線します。(共通編P20を参照してUSBケーブルの取付を行ってください。)
5. ナビゲーション本体①を車両から取り外したネジで車両に取り付けます。取り付ける際はゆるみのないよう締め付けてください。

👉 アドバイス

- ハーネスやケーブルをコンソール内の空いている方に逃がすようにして取り付けてください。ナビゲーション本体①の裏側に固まっていると取り付けできない場合があります。
- ゴムブッシュ付近にケーブルやコードが掛からないようにして取り付けてください。ケーブルやコードを挟み込んだり、取り付けできない場合があります。

- コード類を配線する際は、下記の点に注意してください。

▲ 警告

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く
 コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

7. 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。
- ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。